

平成 28 年

第12回教育委員会会議録

(開会 平成28年11月21日)

(閉会 平成28年11月21日)

岐阜県可児市教育委員会

平成28年11月21日午前8時59分開会

会場：市役所4階第3会議室

出席委員

竈橋義朗君（教育長）

小野口裕子君（教育委員）

星野京子君（教育委員）

生駒隆昌君（教育委員）

丹羽千明君（教育委員）

説明のために出席した者

長瀬治義君（事務局長）

梅村高志君（学校教育課長）

山口好成君（学校給食センター所長）

川原淳一君（教育研究所主任指導主事）

細野雅央君（教育総務課長）

川合 俊君（文化財課長）

今井竜生君（学校教育課主任指導主事）

渡邊かおり君（学校教育課学校支援係）

出席委員会事務局職員

石原雅行君（教育総務課総務係長）

本田雄太君（教育総務課総務係）

日程及び審議結果

1 開 会

2 前回会議録の承認

3 教育長報告

4 教育委員報告

5 議 事

①議案第25号 要保護及び準要保護児童生徒の認定について（原案可決）

②議案第26号 可児市教育委員会表彰規則に基づく被表彰者の決定について（一部修正し可決）

6 各課所管事項

7 委員からの提案協議事項

8 その他

9 閉会

開会の宣告

- **教育長（笹橋義朗君）** それでは、ちょっと時間前ですけれども、全員そろいましたので会議を始めさせていただきます。平成28年度の第12回教育委員会会議を開催させていただきます。

定足数については、法第14条第4項の規定を満たしておりますので成立するというところで、お願いしたいと思います。

前回会議録の承認

- **教育長（笹橋義朗君）** それから、前回の会議録の承認であります。10月に開催した第11回の教育委員会会議について、教育総務課長。
- **教育総務課長（細野雅央君）** 特に変更等ございません。よろしく申し上げます。
- **教育長（笹橋義朗君）** それでは、変更なしということで進めさせていただきます。

教育長報告

- **教育長（笹橋義朗君）** 次に、教育長報告であります。

きょうちょっとたくさんありますけれども、市町村教育委員会連合会の研究総会、11月11日に行われました。皆さん、参加ありがとうございました。

そのときには、講演としてベネッセ教育総合研究所の所長さんのお話がございました。感想については、弱者の視点がないなあとは僕は思いまして、ちょっとした違和感を覚えました。ちょうどそのときに思ったのが、a 1 aの10月号のところで、衛館長が紹介していました糸賀一雄先生のことを書いてありまして、この人は社会福祉の父というふうに言われておられます。言っているのは、この子らに世の光をではなく、この子らを世の光にということをおっしゃっておられます。障がいを持つ子供が生きづらさを感じない世の中こそが必要であり、障がいを持つことで生きにくさを感じるのならその社会そのものが健全ではないということで、教育のほうの側からいえば、学校においても気なる子供とか、特別支援の子供たちがそれこそ笑顔になってくれば学校自体が笑顔ではないということを行っているのだと思います。

可児市としては、もちろん成績のいい子を大事にすることは当然のことですけれども、特別支援の子供たちへの視線も忘れないようにしていかなければいけないなあということも思った次第であります。

それから、各地区の公民館祭りを11月6日に7カ所回ってきました。各地区とも本当に盛大にたくさん的人数で参加者がありまして、可児市の地域の力というか、活発に活動されている公民館を見まして心強く思った次第であります。

それから、もうちょっと前に行って、10月30日に中部中学校の研修会で、子供たち全員に対して法政大学の田中研之輔准教授ですが、この方は桜ヶ丘出身で、今、法政大学の准教授をやっておられまして、子供たちに夢を持って生き生きとこれから進んでほしいということで講演をされました。大変バイタリティーのあるお話をお聞きしまして、子供たちも元気をもらったというふうに、講演を伺いまして、またこれも心強く思いました。

それから青少年育成シンポジウム、参加ありがとうございました。この講演も学校の現状と、それから子供たちの行動についてお話ししていただきまして、本当によかったなあと思います。

それから次に、きのう朝、多文化共生でフレビアのほうへ行ってきまして、これもシンポジウムがありました。東京学芸大学の教授のお話でしたが、とにかくそういう多文化の研究者の中では、可児市のフレビア、またばら教室、それにつながる小学校の教育については、非常に全国的にトップを走っているということで高い評価を受けました。我々としてはまだまだ足りないなというふうには思っているんですけども、社会全体から見れば本当に先進地であるということをおもいますが、まだまだ充実していく必要があるなあということをおもった次第であります

その後、いじめ防止自治体サミット in 可児が開催されまして、これも参加ありがとうございました。それぞれの、これもいじめ防止先進地の大津、それから箕面市の市長が見えて、いろいろ事例発表していただきました。話される内容、ほとんど可児市も同じように頑張っているというふうには私はおもいました。特に、箕面市の市長が言われておった全児童・生徒に調査をして分析をして対処しているという話は、後で箕面市の市長にお聞きしましたが、Q-Uではないそうなんですけれども、文科省の課長に言わせると、同じような調査方法がいろいろあって、Q-Uもその一つで、両方とも有効ですねという話をされました。我々も一人一人の子供に寄り添うという意味合いからQ-Uを使っているわけですが、これもさらに精度を上げながら継続して続けていきたいなあというふうにはおもった次第であります。

ちょっと長くなりましたが、以上であります。

教育委員報告

- 教育長（笹橋義朗君） では、教育委員の報告ということで、小野口委員、お願いします。
- 教育委員（小野口裕子君） おはようございます。

私も先月の会議以降、今日までという中で御報告させていただきますが、やはりちょっと長くなるかもしれませんので、よろしくお願ひいたします。

まず、先月の26日に東濃高校の赤陵祭という文化祭がありまして、そのお招きをいただきまして行ってきました。これで私も継続して8年近く文化祭を見させていただいているんですが、本当に初めのころを思いますが、年々内容が充実してきまして、生徒たちもとても落ちついていて一体感も出てきていますし、みんなで一生懸命に文化祭を盛り上げようということで、とてもいい文化祭だったと思います。

全部は見られませんでしたけれども、特にまた東濃高校は可児市の子供たちもたくさんお世話になっておりますし、外国籍の子たちもとても楽しく学校生活を送っているということを校長先生からもお聞きいたしましたし、その舞台の上でも本当に見事なダンスを披露してくれたり、彼らが持っている力をそこで楽しく十分に発揮できているということをおも見させていただきました。可児市の子供たちもいっぱい行っているんで、またほかの方々にもぜひ東濃高校を訪問していただいて、子供たちの様子を見ていただけたらいいなあということをおもいました。

それから、皆さんも御一緒したことですけれども、11月3日、市の表彰式に参加させていただきまして、今年度は去年と比べると多くの方が受賞されたということを感じまして、長年市のために貢献してくださった方々、本当にありがたいなということで参加させていただきました。

それから、先ほど教育長さんもおっしゃいました11日の市町村教育連合研究大会ですけれども、教育長さんの御感想と大体重なりますので、ちょっと省略させていただきましたが、やはり年に1度の県内全ての教育委員が集まる大切な研究大会ですので、やはり私たちも大事な時間を使っていくわけで、そこで学ばせていただく内容についてももっともっと建設的に、私たち教育委員も長年やっている方もいれば初めての方もいらっしゃるわけですので、そういう方たちを対象にどういう講演がいいのかなということ、これからももっと吟味していただけるといいなあということを思いました。

それから、19日が青少年シンポジウムでしたけれども、本当にこれも教育長さんおっしゃったようなことなんですけど、今、実際子育て中のお母さんたち、お母さんに限らず保護者の方たちにぜひ聞いていただけたらいいなということを思った内容でした。要約を当日資料としていただきましたけれども、あれをまた参加できなかった方々にも学校を通して配付することができたらいいなあということを思いましたので、できればやっていただきたいと思います。

それから、きのうのいじめ防止のサミットですけれども、本当に大津市、箕面市のいじめの取り組みの様子を伺うことができ大変私自身も勉強になりました。やっぱり可児市は、教育長がおっしゃったように、一生懸命いじめ防止について先進的に取り組んでいるなということを感じさせていただきましたし、手応えとしてその成果が上がってきているなということも感じております。でも、お話を伺う中で、やっぱり地域力というのがかなり大きくいじめ防止にもかかわってくるということを強く感じましたので、可児市もこれからますます地域の方の力をおかりしながら、もっともったこのいじめ防止を含め、またいじめに対してどういうふうに向き合っていくか、これから人生を生きていく中で子供たちはいろんな壁にぶつかるわけですけれども、そういうときにそこをどうやって乗り越えていくかという、そういう精神的なたくましさであったり乗り越え方など、そんなことも子供たちに教えていかなければいけないんじゃないかということを感じました。以上です。

○ **教育委員（丹羽千明君）** おはようございます。

ほとんど重複するんですが、11月3日、可児市功労者表彰式に出席させていただきました。長年可児市のために尽くしていただいた多くの方々に可児市が支えられているということを感じさせていただきました。

それから、11月11日の教育委員会の連合会の総会ですが、これも感想は全く小野口委員と教育長と同じなんですが、ちょっと形式がいつもワンパターンで、もっと事例で参考になるとか、何か得るものがあるともっといいなあと思いましたし、教育委員の県の交流ということがそこしかないのも、もっと何か違う形式があるんじゃないかなあというふうに思いました。

それから11月20日、昨日、松野湖クリーン作戦が午前中にございまして参加させていただきました。可児市、御嵩町、瑞浪市の3市の各種団体の多くの方が参加され、ごみ

の量がだんだん減ってきたなというふうに感じました。

それから、11月20日のいじめ防止自治体サミット in 可児ですが、いじめの防止の重要なポイントですね。スピード感とかシグナルを見落とさないとか、子供にアクセスしやすいシステムをつくるとか、そういったいじめ防止の重要なポイントを再確認することができたと思います。また、参加者は共通の認識を持つことができよかったです。以上です。

○ **教育委員（星野京子君）** おはようございます。

私も重複しておりますけれども、感想をお話しさせていただきたいと思います。

11月3日の市の功労賞は、本当にたくさんの方が表彰を受けて、長い期間可児市のためにいろいろやってくださったことに本当にありがたいなあという思いで参加させていただきました。

それと、11月11日の岐阜県市町村教育委員会連合会での感想ですけれど、3つの教育委員会の実践発表がありまして、本当に可児市も同じように取り組んでいて、各3つの市町村もこれからの子供たちをどういうふうに育てようかということで、いろいろな取り組みをその地域の特色を生かしてやられていることにととてもすばらしいなあということを感じました。

それと、きのうのいじめ防止自治体サミット in 可児ですけれど、可児市の市長さん含めて大津市と箕面市の首長さんのお話を直接聞くことというのは本当に珍しいことだと思うんですけれど、それが直接聞けて、一生懸命いじめに取り組んでくださっているということにととても心強く感じましたし、本当に1階の会場いっぱいになりましたけれど、皆さんもすごく聞いた方は心強く思ったんじゃないかなあということを感じました。

本当に可児市教育委員会も、同じような熱意じゃないですけど、子供たちが楽しく学校に来られるように、それが一番だなあということをおもひまして、人ごとじゃなく自分のことと思って、いじめのことに対しては素早く対応することが大切だなあということをおもひました。

文科省の坪田課長さんも参加されていて、いじめに関して力強く、即対応してくださるとゆうお話もしてくださり、本当に頼もしく感じました。以上です。

○ **教育委員（生駒隆昌君）** 改めて、おはようございます。

私、先ほど教育長も言われましたけど、10月30日に中部中学校のPTAの主催で教育講演会に参加させていただきました。法政大学の田中研之輔先生が講演されたんですが、この方、キャリア教育のほうで尾木先生と同じように頑張ってみえる方で、同じ法政大学ということでお話を聞きました。2年にわたり中部中学校に来校していただき、講演をしていただきました。昨年も聞いた子供たちもあり、またことし新たに講演を聞いた子供たちもあったんですが、非常にわかりやすい、これから自分の将来をどうやって見詰めていくかということをおわかりやすく説明していただいて、本当にすばらしい講演会だったと思います。また、校長先生も、今後機会があればそういう方をお招きして、子供たちの将来、キャリアというものを応援していきたいというお話でした。

あと、皆さんと重複するところは省かせていただきます。

11月2日に地教連の会長という関係で、可茂地区の太田小学校の研究発表のほうに参加させていただきました。他市の小学校のそういう研究発表を見るというのは初めての

経験でしたが、太田小学校も美濃加茂市の中では非常に中核にあって古い学校で、旭小学校ぐらいの規模の学校でした。入って研究発表を見るときに、やはり先生方が本当に一生懸命やってみえるなということ強く感じました。

小学校というのは、我々蘇南中学校が研究校ですので、中学校の研究大会は何回も参加させていただいて見ているんですが、そういったものと小学校の研究発表会というのは全く違うものなんだなということを改めて思いまして、特に支援学級の先生がやってみえたんですが、非常に若い先生なんですが、子供たちが本当にきらきらして、先生がやってみえることに一つずつすごい反応をしてやってみえる姿を見て、これからも支援学級の先生はそういう先生がリードして学級づくりをしていただけたらいいなというふうに本当に思いました。

あと、11月5日の日に、これはライオンズの方がふるさと川公園で、特別支援学級の子供たちを招いてマス釣り大会をやらせまして、可茂の支援学校の方々も皆さん参加されておったんですけど、正直その支援学級の子に、マス釣り大会なんていうと物すごいリスクがあるんじゃないかなというふうに思って参加したんですが、本当にライオンズの方々が細かく段取りをしていただいて、さおだとか餌だとかという細かいところまですごい気を使っていただいて、支援学級の子たちを招いてやられました。子供たちも、ふだん魚釣りなんていうことは多分やったことのない子たちばかりだと思うんですけど、そういう子供たちが生き生きと青空の下で魚を釣っているのを見て、すごい感心しました。

ちょうど丹羽委員も一緒に参加しておったんですけど、小学校の低学年ぐらいの子でしたかね。魚釣りをやりたいんだけど、私は虫が嫌いだ。だから餌をつけられない。でも、餌なしでも魚を釣れるかというふうに言われたんですけど、いや、餌がなきゃ魚は釣れないんだよと言ったら、嫌だ嫌だと言っていましたけど、そういうところもやっぱりそういうのを体験してみないとわからない。虫を食べて生きているんだよということも彼らにもわかるような、そういうすばらしい教育なんだなということを感じました。

あと、昨日のいじめ防止自治体サミット in 可児ですが、いじめ防止について可児市もいろんなことを取り組んでいますし、教育委員としてもいろんなことを考えてやっているんですけど、きのうは首長さんお三方と文科省の方と尾木先生のお話を聞いていると、可児市が今やっていることの方向性というのに全く間違いはないんだなということを実感することができました。SSWやQ-UやNRTといういろんな面で可児市が今取り組んでいることが、そういったことの小さな積み重ねがいじめを防止するということを皆さん口をそろえて言ってみえて、本当に今可児市が取り組んでいるいじめ防止というのには間違いがないんだなと思いました。

その中で、1つ尾木先生がやってみえたんですけど、やはりいじめというものの枠がすごい広いので、人権教育というのにやっぱり力を入れて、どういったものがいじめなのか、いじめを受けるとどういふような感じを受けるかということもまたさらに必要になってきているんだなあと、そういう時代になってきたんだなと、その情報社会の中でいじめをつくづくきのう聞いて思いまして、また可児市も新しく人権教育、今も人権週間とか各学校で頑張ってみえるんですけど、また改めてその部分にもいろんな議論をして、またよくしていただけたらいいなというふうに思いました。以上です。

- **教育長（笹橋義朗君）** ありがとうございます。
今出た御意見、感想等、また事務局のほうで反映できる部分は検討してもらおうようにお願いしたいと思います。

議事

- **教育長（笹橋義朗君）** それでは、議事に入らせていただきます。
- **事務局長（長瀬治義君）** 本日の議事は以下のとおりです。
議案第25号 要保護及び準要保護児童生徒の認定について、議案第26号 可児市教育委員会表彰規則に基づく被表彰者の決定について、以上2件でございます。よろしくお願いたします。
- **教育長（笹橋義朗君）** 本日の議事は2件であります。簡潔な説明を求めるわけですが、議案第25号 要保護及び準要保護児童生徒の認定について及び議案第26号 可児市教育委員会表彰規則に基づく被表彰者の決定について及びその他の児童生徒校内事故、問題行動、交通事故等の記録についてに関しては、個人情報やプライバシーに関する情報のため、加えて議案第26号については、意思形成過程に係る情報であり、外部からの働きかけに左右されることなく、的確な審議環境を確保する必要があることの理由によりまして、教育委員会会議規則第14条の規定により非公開とすることをしたいと思いますが、いかがですか。

〔「異議なし」の声あり〕

異議ないようでありますので、これらを非公開とし、議事の進行上、最後といたしたいと思います。

各課所管事項

- **教育長（笹橋義朗君）** では次に、各課所管事項についてお願いします。
- **事務局長（長瀬治義君）** 私のほうからは、12月議会の日程が発表されておりますので、お知らせいたします。
12月1日開会、閉会が22日であります。会期22日間であります。
本会議は、初日12月1日、及び一般質問は8日、9日に予定されます。
13日、予算決算委員会、これは補正予算等の審議でございますが、今のところ教育委員会の事案はございません。
15日、教育福祉委員会、閉会が先ほど申しました22日となっております。以上です。
- **教育総務課長（細野雅央君）** 3点ございますが、まず第1点目といたしまして、今年度の小学校の大規模改修の件でございますが、南帷子小学校の屋内運動場につきましては、今年度外部をリニューアルするということで、屋根と壁につきましては外から見るとほぼ新築に近いような状況で非常にきれいになっております。一応来年予算がつけば、中の内装について同じくリニューアルをしていくという予定でございます。
それから、低学年のトイレの洋式化につきましては、南帷子小と土田小、いずれも工事が完了いたしまして、非常にきれい、今までの湿式から乾式になっているということで、本来は低学年の児童だけですが、やはりきれいということで、いろいろ校長先生にも話を聞くと、中学年、高学年も使っているというような話で、基本的には低学年です

よという指導はしていますが、やっぱり従来のもを見ると確かに見違えるようにきれいなので、今後トイレだけでなく、いろいろ学校も非常に老朽化してまいりますので、やりたいことはたくさんあるんですが、限られた予算の中で計画的にやはりもろもろの修繕、リニューアルをしていく必要性を改めて痛感したというところでございます。何かの機会があれば一度ごらんいただければありがたいなと思います。

それから2点目といたしまして、12月4日の教育委員会表彰式につきましては、9時半から表彰式のほうを開催させていただきますので、教育委員の皆様方は9時20分までに会場のほうにお越しいただきますようよろしくお願いいたします。

それから3点目といたしまして、来月の教育委員会会議の終了後、総合教育会議を開催いたしますので、その下打ち合わせを本日この教育委員会会議終了後に行いたいと思いますので、よろしくお願いいたします。以上でございます。

○ **学校教育課長（梅村高志君）** 失礼いたします。

4点ほど報告や紹介をさせていただきます。

1点目は、土田小学校がユネスコ教育賞を受賞しまして、11日に全校集会の場で表彰式をとり行いました。これは多文化共生の教育が認められたものでございます。土田小学校の日々の丁寧かつ粘り強い実践というものは称賛に値するものであるというふうに考えております。

それから2点目です。ケーブルテレビ可児が笑顔の学校特集を放映しております。先月は東明小学校、そしておとといの土曜日から今週いっぱい西可児中学校を紹介しております。見られた方によりますと、とても朗らかな明るい編集に仕上がっているということのようでございますので、またごらんください。私もこの後見ようと思っております。

3点目、蘇南中学校で、今月28日に3年生の社会科の主権者教育の授業公開を行います。地方の政治と自治という題材で、3年後に主権者になる生徒たちに、施策であるKプロジェクトなどを素材にしながら、自分たちのまちづくりというものについて考える授業が仕組まれる予定です。アクティブ・ラーニング等の手法も生かすようで、もしよろしければ御参観いただければと思います。詳しくは後ほど御紹介させていただきます。これは議会事務局を通しまして議員さん方にも案内がしてございます。授業後には、簡単な意見交流の場も設けておりますので、よろしくお願いいたします。

最後4点目です。お話にも出ておりますが、Q-U、N R Tの予算措置が5年を経過するというこの節目で、今週木曜日に、これまでの教育効果について市長さんに説明をさせていただく時間をとっていただきました。経年データを用いながら研究所の川原主任のほうからプレゼンレクをいたしますので、これについても御承知おきください。

学教からは以上です。

○ **文化財課長（川合 俊君）** 文化財課と郷土歴史館分になります。

12月の予定表をごらんください。

可児市の郷土歴史館では、9月16日から現在開催しております企画展「村絵図展 変わったところと変わらないところ」が12月4日に終了し、12月8日から通常展に戻ります。

また、荒川豊蔵資料館でも9月16日から現在開催しております企画展「美濃桃山陶の

再興一大萱牟田洞～孤高の陶芸家・荒川豊蔵～」が12月4日に終了し、お配りしているチラシにありますように12月9日から通常展「豊蔵の世界vol. 6～節句のうたげ～」が始まります。

12月19日には今年度2回目の史跡美濃金山城跡の整備委員会を開催します。

以上でございます。

- **学校給食センター所長（山口好成君）** 給食センターからは連絡、報告事項等、特にございません。
- **教育長（笹橋義朗君）** これまでの各課の説明に対する御意見、御質問等ございますでしょうか。

[挙手する者なし]

委員からの提案協議事項

- **教育長（笹橋義朗君）** それでは、特にないようでありますので、次に、各委員からの提案協議事項についてを議題といたします。
- **教育委員（小野口裕子君）** まず、ちょっと提案協議になるかどうかわかりませんが、先生方の中で、やはり人間ですので病気もされますし、そういうことで長期休暇になられたりするところがあるかと思うんですが、最近もある学校で教頭先生が2カ月間ほど病気のためにお休みされたわけですが、そういう場合の病休中の対応で、やはり少人数指導が2カ月間休止になったりとか、あと特別支援学級のほうへのしわ寄せであったり、あと部活動の担当が1人になってしまったりとか、あとPTA活動、渉外など、今までかかわっておられたところの対応がほかの先生に行ったりとか、いろんな面でその中で解決しようとする、その内部でのしわ寄せがいっぱい出てきて負担も多くなっておられるということで、それをやっぱり地域の方々も危惧しておられるんですね。先生の負担もそうですけど、その分子供たちにももちろんしわ寄せが行くわけで、子供たちへの影響が出てくるということで、今回2カ月という、それが短いのか長いのかちょっとわかりませんが、そういうときの対応の仕方というものをちょっと検討していく必要があるのではないかなあということをおっしゃりたいと思います。
- **学校教育課長（梅村高志君）** 委員御指摘のとおり学校現場、先生方フル回転で教育に当たっておる状況の中で、病気等での現場離脱というのは、本当に今おっしゃったとおり厳しいものがございます。

今回、お話しいただいたことは県費の教職員ということで、これは可茂の教育事務所のほうを通じて、欠員状態を早く解消するように補充をいただくよう、市教委からも繰り返し繰り返し依頼をしておるところでございます。2カ月というのは短い期間ではありませんので、本当に一刻も早く代替の方が入っていただくことを今私ども切望しておりますところですが、実を申し上げますと、県下全域に目をやると、例えば女性の方の産育休、これなんかは産育法で即、臨時的任用職員を入れなければならないのですが、本当に代替者の方が見つからないということで、穴があいてしまうというような地区がほかにもございます。

可児市は幸いなことにそういうケースは今生まれておりませんが、ここにも人員不足といえますか、本来入っていただかなくてはいけない方が即埋まらないという悲鳴が

方々から聞こえてきます。今、可児市は辛うじてそういった欠員状態が多くないのですが、いずれにせよ県費については県のほうから補充いただくということで、校内事情が悪化しないように手を打っていかなきゃいけないという切実な願いを私どもも持っております。

○ **教育委員（小野口裕子君）** ありがとうございます。

そういう御説明をいただきましたので、また地域の方々にも、私も折に触れそういう御返答をさせていただきたいと思います。

なるべく本当に県のほうから補充いただけるといいですね。県のほうもやっぱりこういうことは起こり得ることですので、そういうときのことをすぐ対応できるような制度とございますか、そういうものを常に考えておいていただけるとありがたいなと思います。

あともう1点、よろしいですか。

これは提案協議じゃなくて、ちょっと御報告にはなると思うんですが、皆さん新聞等でもう既に御存じかと思うんですが、岐阜県の公立高等学校協議会のほうから、来年度の高校の定員について、きのう決定ということで報告いただきましたので、一応皆さんにもお知らせしておいたほうがいいのかと思ひまして、報告させていただきます。

来年度の中学校の卒業予定者数が2万71人で、前年より419人減少するそうです。それで、県内の全日制過程の入学定員総数が1万8,720人で、これも前年と比べると320人の減ということになります。内訳としては、公立学校で1万4,520人、私立学校で4,200人ということです。

私たちが関係するこの可茂学区につきましては、加茂高が40人減ることですので、それだけですね。そのほかについては増減なしということでございます。私立においても変化はありません。あと通信制も変化はございません。

以上です。報告させていただきます。

○ **教育長（籠橋義朗君）** ありがとうございます。

ほかに提案ございませんでしょうか。

○ **教育委員（丹羽千明君）** 前回の教育委員会議で、今渡北小学校に教室が足らなくて、プレハブ校舎を今考えられているという報告がございましたけれども、それに伴うというか、北小学校の児童数が予想以上にふえているということを感じますので、最近のデータでわかる範囲で結構ですので、1年後、2年後で、またプレハブが何年ぐらい続くのか。いずれ子供の人口が減ると言われておりますが、北小学校におきましては余り減るような感じがしませんので、支援学級のクラスがふえるということもありますし、母子家庭とか外国籍の方がまたふえるという予想があると思いますので、教えていただきたいのと、またそれがいずれ蘇南中学の不足につながっていくということもあるんじゃないかと思ひますので、教えていただきたいと思ひますが、よろしくお願ひします。

○ **教育総務課長（細野雅央君）** その件については、この教育委員会会議終了後の総合教育会議の予算の下打ち合わせの中で資料等お渡ししてお示しをさせていただきますし、またその後の来年の2月ぐらいに、いわゆる学校規模適正化をベースとしたその後の状況と今後の見通し、それに対する対応策等も、年が明けてから、もう一度教育政策会議等で報告とか議論を行っていただく予定でおりますので、よろしくお願ひします。

○ **教育委員（丹羽千明君）** わかりました。

- **教育長（笹橋義朗君）** 前回出た報告の中で、注視して見ていくという結論が出ていますので、定期的に皆さんに検討していただく機会を持っていこうとは思っておりますので、よろしくお願いします。

ほかに提案ございますか。

[挙手する者なし]

その他

- **教育長（笹橋義朗君）** それでは、ないようですので、その他に入ります。
次回の日程等について、教育総務課長。
- **教育総務課長（細野雅央君）** 12月の教育委員会会議につきましては、12月19日の月曜日9時から、場所は同じくこの4階の第3会議室でお願いをしたいと思います。なお、当日午前11時から総合教育会議を行いますので、よろしくお願いします。
それから、1月の日程についてなんですが、事務局で当初考えておったのは、1月23日の月曜日の9時からということで、きょうお示しをしてそのまま承認を得ようかなと思いましたが、実は先週の末に県から連絡がありまして、ちょうど1月23日から27日の週、毎日ですけど、この5日間、会計検査が入る予定です。ただ、可児市に入るかどうかはまだわからなくて、第一報ということです。ただ通常23日の月曜日、初日は、会計検査員が県庁でまず県の状況を検査するというのが通例ですが、リスクがあるので、1週間延ばして、岐阜県知事選挙の翌日の1月30日のほうが安全かなと思いますが、皆さん、1月30日はいかがでしょうか。
- **教育長（笹橋義朗君）** 予定される案件に支障はないんだね。
- **教育総務課長（細野雅央君）** 特にございませんので。
じゃあ1月30日ということでお願いできますでしょうか。9時からで、場所もここを押さえてありますので、よろしくお願いします。
- **教育長（笹橋義朗君）** では、1月は1月30日ということで、一応の予定をするということで、お願いします。
それでは、公開部分につきましては終了いたしましたので、この後休憩を挟んで、非公開案件を行いたいと思います。よろしくお願いします。では、休憩に入ります。

(文化財課長、給食センター所長退席)

休憩 午前9時50分

再開 午前10時02分

- **教育長（笹橋義朗君）** それでは、時間になりましたので委員会を再開いたします。

(以下非公開)

(以上非公開)

閉会の宣告

- **教育長（笹橋義朗君）** それでは、審議事項全て終わりました。ありがとうございました。
それでは、これにて閉会をいたします。ありがとうございました。

閉会 午前11時02分